

令和4年度活動報告書

会 員 名	舞鶴市			
活 動 名	みなとオアシス登録記念 鉄道イベント			
主 催 者	みなとオアシス京都舞鶴うみとびら運営協議会(事務局:舞鶴市)			
報 告 者	所属	みなと振興・国際交流課	TEL	0773-66-1037
	氏名	担当:中山隆司	E-mai	
協議会以外の 共催・後援等				
実 施 時 期	令和4年10月15日(土)			
実 施 規 模	135名			
実施事業費	249,480円			
実 施 概 要	活 動 全 般			
	【事業概要】 京都舞鶴港では、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、みなとオアシス制度への登録に向けて取り組んできたところ、去る令和4年10月15日にみなとオアシス登録証授与式を実施するとともに、登録を記念した関連イベントを実施。そのイベントの一環として、みなとオアシスの構成施設であり、イベントの開催会場でもある「大野辺緑地」に過去走っていた廃路線「通称:海舞鶴線(貨物列車)」の紹介及び鉄道列車にちなんだミニSLを運行し、来場者による体験乗車など、賑わい創出に繋がる事業を実施したもの。 【事業内容】 みなとオアシス登録イベント来場者を対象とした賑わいのコンテンツとして以下を実施 ・「通称:海舞鶴線」の画像・パネル展示、資料紹介、当時の乗務員スタッフによるエピソード紹介 ・子ども・大人乗車可能なミニSLを運行			
実施にあたり苦労した点 (今後他の会員が実施する上で注意する点)	・イベント全体における本コンテンツの配置 より多くの方に乗車体験及び鉄道にちなんだ街の歴史に触れていただきたかったが、本コンテンツがある程度のスペースを必要としたことから、イベント全体における人の動線上に配置することができず、見込みを超える利用者数に至らなかった。			
参加者の反響 (参加者の声)	乗車した子どもたちの喜びの声は勿論のこと、寄港中のクルーズ船を背景にしたロケーションが素晴らしいとの反響であった。また、今と昔を比較できるパネル展示に興味を示す来場者も多くあった。			
活動に対するPR内容	チラシの作成配布、市HPへの掲載、市SNSでの情報発信、FM放送によるイベント告知を実施。			
マスコミ等の反響	(イベント全体として)京都新聞、朝日新聞、産経新聞に関連記事掲載			
実施状況写真	別紙のとおり			

日本海にぎわい交流海道ネットワーク活動支援報告

令和4年度 みなとオアシス登録記念 鉄道イベント

京都府舞鶴市

令和5年10月5日

京都舞鶴港の「みなとオアシス登録」について

2022年10月15日(土)「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」登録

みなとオアシス登録記念

舞鶴の船

同日開催 ブルーフェスタ2022

西の港に

2022年10月15日(土)
10時～16時

集まれ

舞鶴西港
第3ふ頭・大野辺緑地周辺

「みなと」を核にみんなで賑わいづくりをしていく地域を国土交通省港湾局が「みなとオアシス」として認定します。京都舞鶴港の「みなと」で「楽しい」をつくる取り組みです。



※ご来場の際は、マスク・手指消毒を徹底し感染症対策にご協力ください。
※発熱等の症状がある方は来場をお控えいただくようお願いいたします。
※悪天候等の諸事情により、一部変更、中止となる場合があります。

ブルーフェスタ会場への入場には事前登録が必要です。QRコードから手続きをお願いします。

専用駐車場
第3ふ頭内に用意しております。係員の指示に従ってご入場ください。

会場案内図

舞鶴港とれとれセンター
新鮮な海の幸を買って食べて頂戴！

第3ふ頭
P

第2ふ頭

舞鶴かまぼこ手作り体験工房
【要事前予約】
舞鶴かまぼこ協同組合

イベント本部 大野辺緑地

至 宮津 175

至 西舞鶴駅 27

至 東舞鶴 27

1



3年ぶりのブルーフェスタ

舞鶴の船が西の港に大集合
一般公開や体験航海もあるよ

2



クルーズ船「飛鳥II」入港
船内販売グッズを限定販売

3



新日本海フェリーで運んだ
北海道の物産を特別販売

4



京都舞鶴港のみなとオアシス
展示ブースでご紹介します

みなとオアシス
同日開催
ブルーフェスタ

2022年10月15日(土)
10時～16時

5



舞鶴高専の学生が大野辺緑地の
活用を検討。実習成果を大公開☆

6



キッチンカーも来ます
海と船を前に楽しいひとときを

7



鉄道・海舞鶴線が懐かしい
ミニSL乗車体験(有料)

8



各便先着50名限定

遊覧船を無料運行します
イベント本部にて当日9時30分から受付開始

京都舞鶴港の「みなとオアシス登録」について

登録名称：「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」

【みなとオアシス京都舞鶴うみとびらの基本情報】	
設置者	舞鶴市
運営者	みなとオアシス京都舞鶴うみとびら運営協議会
所在港湾	舞鶴港 【重要港湾】
構成施設	京都舞鶴港うみとびら（代表施設） 大野辺緑地、田辺城跡（舞鶴公園）、田辺城資料館、西舞鶴4商店街、舞鶴港とれとれセンター、舞鶴市西市民プラザ
港湾管理者	京都府
登録日	令和4年10月15日



近畿地方整備局舞鶴港事務所提供

【代表施設】

京都舞鶴港うみとびら



【主なイベント】



田辺城まつり



みなと舞鶴ちゃったまつり前夜祭



クルーズ船受入おもてなし

京都舞鶴港の「みなとオアシス登録」について

～みなとオアシス登録イベント～

【日時】令和4年10月15日（土）

10:00～16:00

【会場】舞鶴西港第2ふ頭

（うみとびら～大野辺緑地）

【イベント概要】

- ・登録証交付式（13時30分開式）
- ・みなとオアシス展示ブース
- ・西港遊覧船
- ・キッチンカー
- ・海舞鶴線紹介ミニSL体験



※飛鳥Ⅱ寄港

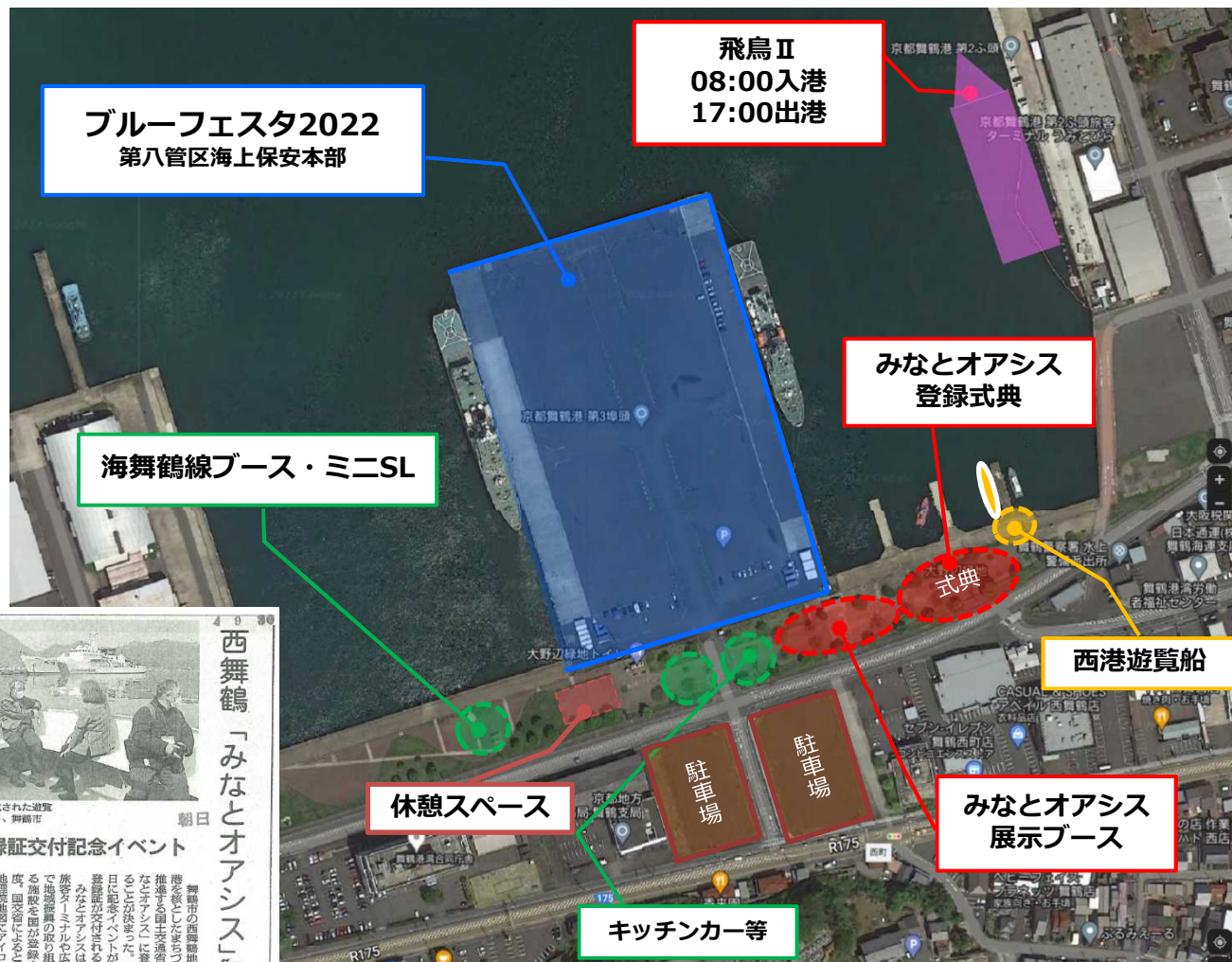
（8時入港 17時出港）

※ブルーフェスタ2022

（第3ふ頭 10時～16時）

◆来場者数

⇒ 約2,500人



みなとオアシス登録式典・イベントの様子



みなとオアシス登録式典・イベントの様子



《ミニSL乗車体験（5インチ ライブスチーム）》

イベント会場の大野辺緑地には、かつて、「国鉄舞鶴線」（貨物線）という臨港鉄道が稼働。その跡地を活用し、舞鶴の鉄道歴史を回顧する機会とする。

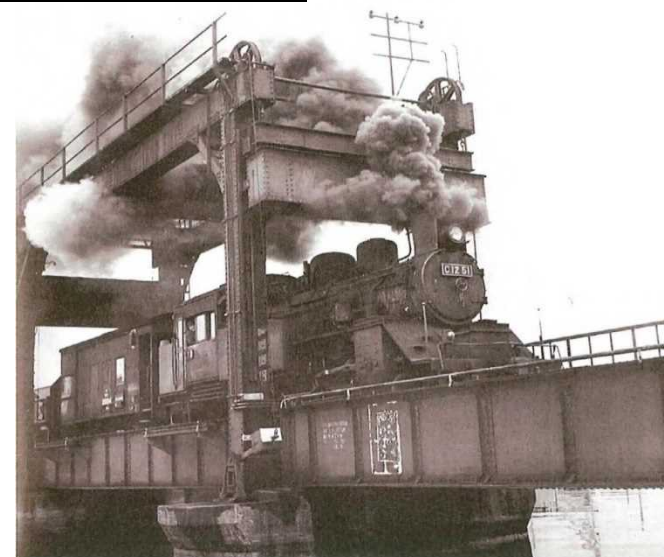
- ・ 1乗車200円で実施
- ・ 乗車見込み：300名を予定
- ・ 線路寸法半径約15mを1乗車あたり2周運行



《「国鉄舞鶴線（通称：海舞鶴線）」画像パネル展示・ナビゲート》

「国鉄舞鶴線」の西舞鶴駅～舞鶴港駅間（通称：海舞鶴線）の歴史をたどる画像・資料等のパネル展示を実施。また、同路線の最終列車乗務員の常駐をお願いし、当時のエピソードをお話いただく。

- ・ 昭和60年3月12日 海舞鶴線お別れ列車に機関助手として乗務された方をナビゲーターとしてお招き



みなとオアシス登録記念『鉄道イベント』【当日の様子】



舞鶴市
MAIZURU-CITY

- [illegible]